

政策1 「障害者・高齢者が地域で自分らしい生活を送るための環境づくり」

政策1「障害者・高齢者が地域で自分らしい生活を送るための環境づくり」は、障害、高齢、病気などにより生活のための援助が必要になったときでも、住み慣れた家や地域で、いつまでも自分らしさを保って暮らしていける環境づくりを目指す様々な施策で構成されている。

1. 政策1の認知度

1.1 一般県民

一般県民全体における高認知度群は42.3%、低認知度群は57.7%である。

一般県民における、性別、65歳年齢区分別での高認知度群の割合は、性別では、女性(44.2%)が男性(40.0%)よりも高い。

65歳年齢区分別では、65歳以上(53.6%)が65歳未満(38.3%)よりも高い。

一般県民の圏域別での高認知度群の割合は、

回答者全体と比較して、高認知度郡の割合に5ポイント以上差がある圏域はない。

(%)

政策1 認知度	高認知度群		小計	低認知度群		小計	計
	知っていた	ある程度知っていた		あまり知らなかった	知らなかった		
一般県民全体	4.1	38.2	42.3	45.4	12.3	57.7	100.0

性別	男性	4.0	36.0	40.0	46.7	13.3	60.0	100.0
	女性	4.4	39.8	44.2	44.3	11.5	55.8	100.0
年齢別	65歳未満	3.4	34.9	38.3	48.7	13.0	61.7	100.0
	65歳以上	6.5	47.1	53.6	36.0	10.4	46.4	100.0

圏域別	仙台	2.7	39.8	42.5	44.3	13.1	57.4	100.0
	仙南	6.6	34.4	41.0	47.3	11.6	58.9	100.0
	大崎	4.2	38.5	42.7	46.0	11.3	57.3	100.0
	栗原	4.9	36.5	41.4	47.0	11.7	58.7	100.0
	登米	5.4	37.8	43.2	48.2	8.6	56.8	100.0
	石巻	2.8	37.2	40.0	45.6	14.4	60.0	100.0
	気山沼・本吉	2.8	41.8	44.6	40.2	15.1	55.3	100.0

有効回答者数 1,667 名

政策1「障害者・高齢者が地域で自分らしい生活を送るための環境づくり」

1 2 市町村職員・学識者等

市町村職員全体における高認知度群は64.7%、低認知度群は35.2%である。

市町村職員の圏域別での高認知度群の割合は、

回答者全体と比較して、栗原圏域（85.7%）が21ポイント、登米圏域（75.0%）が10.3ポイント、気仙沼・本吉圏域（70.3%）が5.6ポイント高い。

仙台圏域（57.7%）が、回答者全体と比較して7.0ポイント低い。

学識等全体における高認知度群は67.7%、低認知度群は32.3%である。

(%)

政策1 認知度	高認知度群		小計	低認知度群		小計	計	
	知っていた	ある程度知っていた		あまり知らなかった	知らなかった			
市町村職員全体	8.7	56.0	64.7	30.7	4.5	35.2	100.0	
圏域別	仙台	6.0	51.7	57.7	32.8	9.5	42.3	100.0
	仙南	9.1	56.4	65.5	32.7	1.8	34.5	100.0
	大崎	11.7	54.5	66.2	32.5	1.3	33.8	100.0
	栗原	0.0	85.7	85.7	14.3	0.0	14.3	100.0
	登米	25.0	50.0	75.0	25.0	0.0	25.0	100.0
	石巻	8.7	60.9	69.6	26.1	4.3	30.4	100.0
	気仙沼・本吉	5.4	64.9	70.3	27.0	2.7	29.7	100.0

有効回答者数 332 名

学識者等全体	7.4	60.3	67.7	29.4	2.9	32.3	100.0
--------	-----	------	------	------	-----	------	-------

有効回答者数 68 名

政策1「障害者・高齢者が地域で自分らしい生活を送るための環境づくり」

2. 政策1の関心度

1 1 一般県民

一般県民全体における高関心度群は90.6%、低関心度群は9.3%である。

一般県民における、性別、65歳年齢区分別での高関心度群の割合は、

性別では、女性(93.0%)が男性(88.4%)よりも高い。

65歳年齢区分別では、65歳以上(93.4%)が65歳未満(89.8%)よりも高い。

一般県民の圏域別での高関心度群の割合は、

回答者全体と比較して、高関心度群の割合に5ポイント以上差がある圏域はない。

(%)

政策1 関心度	高関心度群		小計	低関心度群		小計	計
	関心があった	ある程度関心があった		あまり関心 がなかった	関心が なかった		
一般県民全体	41.8	48.8	90.6	7.0	2.3	9.3	100.0

性別	男性	41.4	47.0	88.4	9.6	2.0	11.6	100.0
	女性	42.0	51.0	93.0	4.6	2.5	7.1	100.0
年齢別	65歳未満	37.4	52.4	89.8	8.0	2.2	10.2	100.0
	65歳以上	53.8	39.6	93.4	4.1	2.5	6.6	100.0

圏域別	仙台	46.4	44.5	90.9	5.9	3.2	9.1	100.0
	仙南	36.9	52.5	89.4	7.8	2.9	10.7	100.0
	大崎	44.2	46.3	90.5	7.9	1.7	9.6	100.0
	栗原	43.2	48.0	91.2	6.6	2.2	8.8	100.0
	登米	36.2	55.9	92.1	7.4	0.4	7.8	100.0
	石巻	37.0	54.9	91.9	6.0	2.2	8.2	100.0
	気山沼・本吉	45.5	45.1	90.6	7.1	2.4	9.5	100.0

有効回答者数 1,688 名

政策1「障害者・高齢者が地域で自分らしい生活を送るための環境づくり」

1 2 市町村職員・学識者等

市町村職員全体における高関心度群は92.6%、低関心度群は7.4%である。

市町村職員の圏域別での高関心度群の割合は、

回答者全体と比較して、仙南圏域(100.0%)と栗原圏域(100.0%)では共に7.4ポイント高い。

回答者全体と比較して、石巻圏域(82.6%)では10.0ポイント、登米圏域(83.3%)では9.3ポイント低い。

学識等全体における高関心度群は95.6%、低関心度群は4.3%である。

(%)

政策1 関心度	高関心度群		小計	低関心度群		小計	計	
	関心があった	ある程度関心があった		あまり関心 がなかった	関心 がなかった			
市町村職員全体	40.1	52.5	92.6	6.8	0.6	7.4	100.0	
圏 域 別	仙台	32.2	55.9	88.1	11.0	0.8	11.8	100.0
	仙南	50.0	50.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	大崎	43.6	51.3	94.9	5.1	0.0	5.1	100.0
	栗原	28.6	71.4	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	登米	50.0	33.3	83.3	8.3	8.3	16.6	100.0
	石巻	43.5	39.1	82.6	17.4	0.0	17.4	100.0
	気山沼・本吉	39.5	57.9	97.4	2.6	0.0	2.6	100.0

有効回答者数 337 名

学識者等全体	42.0	53.6	95.6	2.9	1.4	4.3	100.0
--------	------	------	------	-----	-----	-----	-------

有効回答者数 69 名

3. 政策1の重視度・満足度

3-1 回答者全体

一般県民の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。
重視度の中央値は80.0点で、県民は「重要である」と考えていることが分かる。
満足度の中央値は50.0点で、県民は「やや不満である」と考えていることが分かる。
重視度と満足度の中央値の差は30.0点で、かい離度は「大」である。
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より51.5%と推定できる。

市町村職員の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。
重視度の中央値は80.0点で、県民は「重要である」と考えていることが分かる。
満足度の中央値は60.0点で、県民は「ある程度満足している」と考えていることが分かる。
重視度と満足度の中央値の差は20.0点で、かい離度は「大」である。
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より45.8%と推定できる。

学識者等の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。
重視度の中央値は80.0点で、県民は「重要である」と考えていることが分かる。
満足度の中央値は60.0点で、県民は「ある程度満足している」と考えていることが分かる。
重視度と満足度の中央値の差は20.0点で、かい離度は「大」である。
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より41.6%と推定できる。

政策1「障害者・高齢者が地域で自分らしい生活を送るための環境づくり」

【一般県民】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	80.0	50.0	30.0
第1四分位数(25パーセントイル)	70.0	45.0	25.0
第3四分位数(75パーセントイル)	90.0	65.0	25.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	6.8	(93.2)
満足度 60点未満の割合		58.3
要検討領域にある回答者全体の割合		51.5

有効回答者数；重視度 1,659人、満足度 1,622人

(一般県民)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策1重視度	政策1満足度
度数	有効	1659	1622
	欠損値	62	99
平均値		77.69	53.63
平均値の標準誤差		.348	.410
中央値		80.00	50.00
最頻値		80	50
標準偏差		14.164	16.516
分散		200.607	272.764
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセントイル	25	70.00	45.00
	40	75.00	50.00
	50	80.00	50.00
	60	80.00	60.00
	75	90.00	65.00

【市町村職員】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	80.0	60.0	20.0
第1四分位数(25パーセントイル)	70.0	50.0	20.0
第3四分位数(75パーセントイル)	90.0	65.0	25.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	3.6	(96.4)
満足度 60点未満の割合		49.4
要検討領域にある回答者全体の割合		45.8

有効回答者数；重視度 332人、満足度 332人

(市町村)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策1重視度	政策1満足度
度数	有効	332	332
	欠損値	6	6
平均値		78.30	55.90
平均値の標準誤差		.706	.779
中央値		80.00	60.00
最頻値		80	50
標準偏差		12.857	14.193
分散		165.298	201.447
範囲		100	90
最小値		0	0
最大値		100	90
パーセントイル	25	70.00	50.00
	40	75.00	50.00
	50	80.00	60.00
	60	80.00	60.00
	75	90.00	65.00

【学識者等】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	80.0	60.0	20.0
第1四分位数(25パーセントイル)	75.0	50.0	25.0
第3四分位数(75パーセントイル)	90.0	65.0	25.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	7.6	(92.4)
満足度 60点未満の割合		49.2
要検討領域にある回答者全体の割合		41.6

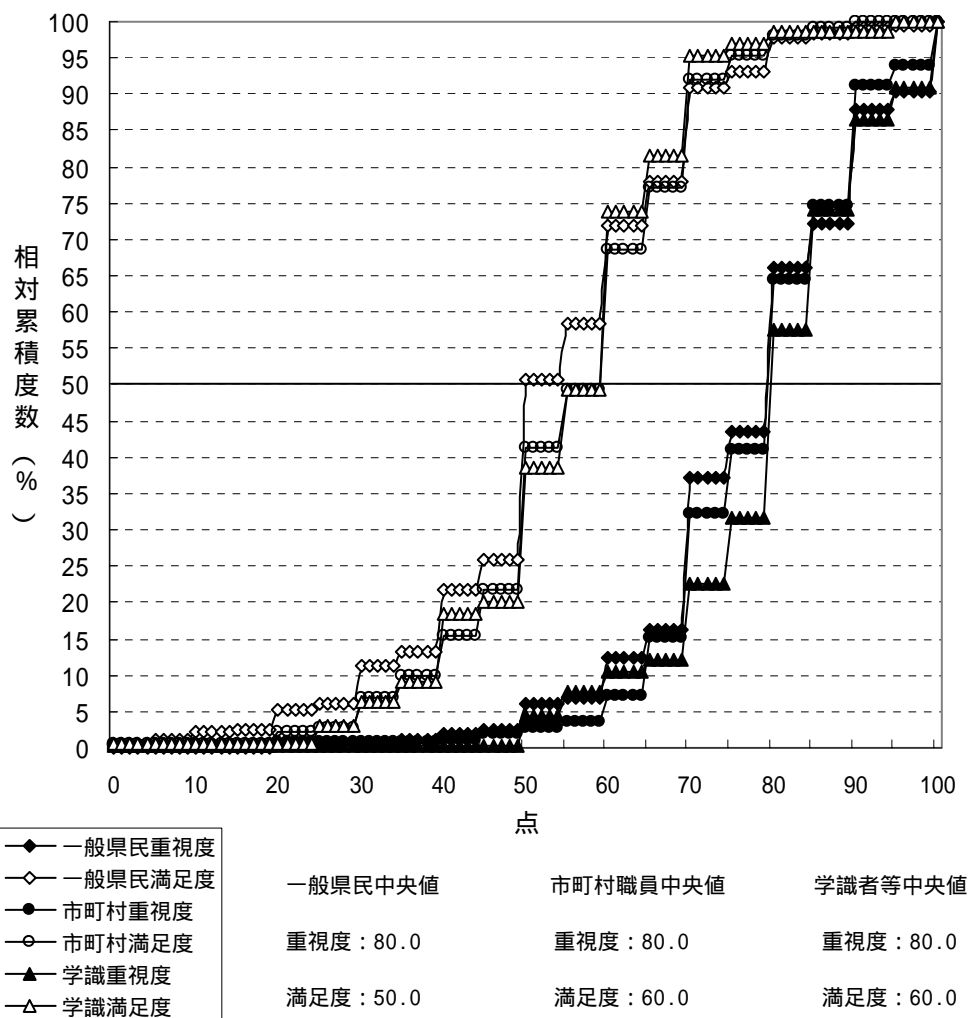
有効回答者数；重視度 66人、満足度 65人

(学識者等)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策1重視度	政策1満足度
度数	有効	66	65
	欠損値	3	4
平均値		80.08	55.62
平均値の標準誤差		1.525	1.635
中央値		80.00	60.00
最頻値		80	60
標準偏差		12.388	13.185
分散		153.456	173.834
範囲		50	70
最小値		50	25
最大値		100	95
パーセントイル	25	75.00	50.00
	40	80.00	55.00
	50	80.00	60.00
	60	85.00	60.00
	75	90.00	65.00

政策1「障害者・高齢者が地域で自分らしい生活を送るための環境づくり」

「政策1 障害者・高齢者が地域で自分らしい生活を送るための環境づくり」



3 2 性別・年齢区分別（一般県民）

一般県民における、性別、65歳年齢区分別における重視度・満足度は以下の通りである。

3 2 - 1 性別

重視度の中央値は、男性女性ともに80.0点で同じである。

満足度の中央値は、女性（55.0点）が男性（50.0点）よりも高い。

重視度と満足度の中央値の差は、男性（30.0点）が女性（25.0点）よりも大きい。

重視度の四分位偏差は、女性（10.0点）が男性（7.5点）よりも大きい。

満足度の四分位偏差は、男性（12.5点）が女性（7.5点）よりも大きい。

「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より、男性51.4%、女性51.6%と推定できる。

中央値、第1四分位数、第3四分位数、四分位偏差の値（点）

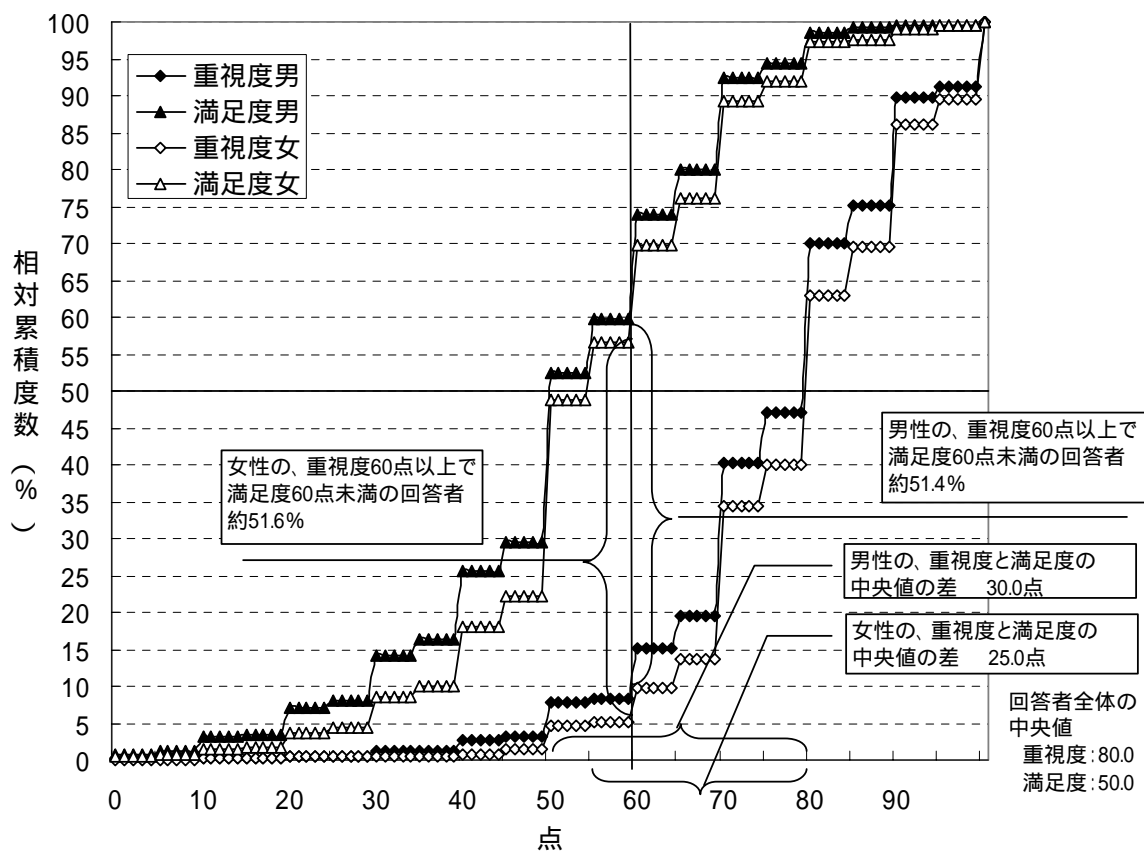
		回答者全体	男性	女性
中央値	重視度	80.0	80.0	80.0
	満足度	50.0	50.0	55.0
	かい離	30.0	30.0	25.0
第1四分位数 (25パーセントイル)	重視度	70.0	70.0	70.0
	満足度	45.0	40.0	50.0
	かい離	25.0	30.0	20.0
第3四分位数 (75パーセントイル)	重視度	90.0	85.0	90.0
	満足度	65.0	65.0	65.0
	かい離	25.0	20.0	25.0
四分位偏差 (第3四分位数-第1四分位数)/2	重視度	10.0	7.5	10.0
	満足度	10.0	12.5	7.5

要検討領域にある回答者全体の割合（推定）（%）

	男性		女性	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	8.3	(91.7)	5.1	(94.9)
満足度 60点未満の割合	59.7		56.7	
要検討領域にある回答者全体の割合	51.4		51.6	

政策1「障害者・高齢者が地域で自分らしい生活を送るための環境づくり」

(一般県民)男性と女性の重視度と満足度



(一般県民)男性の重視度・満足度基本統計量

		政策1重視度	政策1満足度
度数	有効	783	765
	欠損値	20	38
平均値		76.32	52.04
平均値の標準誤差		.519	.615
中央値		80.00	50.00
最頻値		80	50
標準偏差		14.517	17.020
分散		210.735	289.684
範囲		80	100
最小値		20	0
最大値		100	100
ハ-センタイル	25	70.00	40.00
	40	70.00	50.00
	50	80.00	50.00
	60	80.00	60.00
	75	85.00	65.00

(一般県民)女性の重視度・満足度基本統計量

		政策1重視度	政策1満足度
度数	有効	856	839
	欠損値	40	57
平均値		78.97	55.15
平均値の標準誤差		.465	.549
中央値		80.00	55.00
最頻値		80	50
標準偏差		13.616	15.893
分散		185.392	252.601
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
ハ-センタイル	25	70.00	50.00
	40	75.00	50.00
	50	80.00	55.00
	60	80.00	60.00
	75	90.00	65.00

3 2 - 2 65歳年齢区分別

重視度の中央値は、65歳未満、65歳以上ともに80.0点で同じである。

満足度の中央値は、65歳未満（50.0点）が65歳以上（60.0点）よりも低い。

重視度と満足度の中央値の差は、65歳未満（30.0点）が65歳以上（20.0点）よりも大きい。

重視度の四分位偏差は、65歳未満、65歳以上ともに10.0点で同じである。

満足度の四分位偏差は、65歳未満（7.5点）が65歳以上（10.0点）よりも小さい。

「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より、65歳未満54.7%、65歳以上41.9%と推定できる。

中央値、第1四分位数、第3四分位数、四分位偏差の値（点）

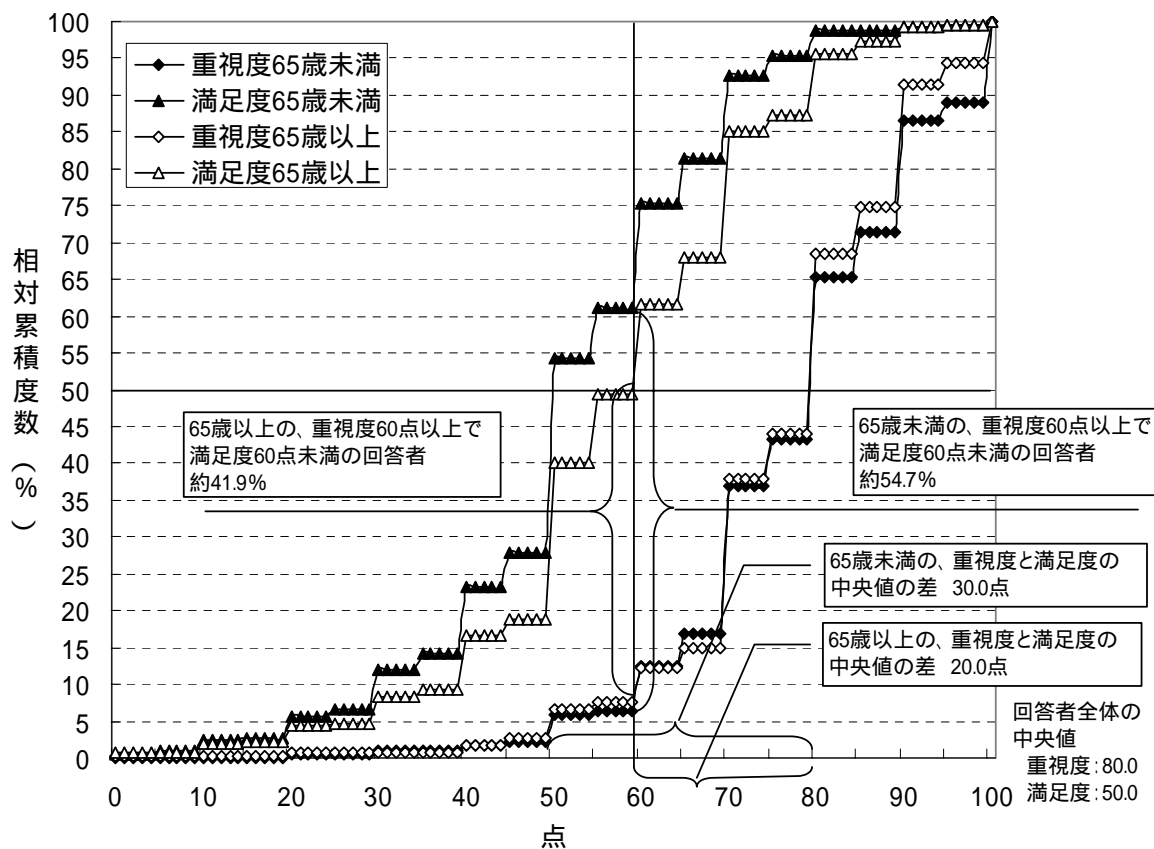
		回答者全体	65歳未満	65歳以上
中央値	重視度	80.0	80.0	80.0
	満足度	50.0	50.0	60.0
	かい離	30.0	30.0	20.0
第1四分位数 (25パーセントイル)	重視度	70.0	70.0	70.0
	満足度	45.0	45.0	50.0
	かい離	25.0	25.0	20.0
第3四分位数 (75パーセントイル)	重視度	90.0	90.0	90.0
	満足度	65.0	60.0	70.0
	かい離	25.0	30.0	20.0
四分位偏差 (第3四分位数-第1四分位数)/2	重視度	10.0	10.0	10.0
	満足度	10.0	7.5	10.0

要検討領域にある回答者全体の割合（推定）（%）

	65歳未満	65歳以上
重視度60点未満の割合(60点以上の割合)	6.4 (93.6)	7.5 (92.5)
満足度60点未満の割合	61.1	49.4
要検討領域にある回答者全体の割合	54.7	41.9

政策1「障害者・高齢者が地域で自分らしい生活を送るための環境づくり」

(一般県民)65歳未満と65歳以上の重視度と満足度



(一般県民)65歳未満の重視度・満足度基本統計量

		政策1重視度	政策1満足度
度数	有効	1212	1189
	欠損値	28	51
平均値		77.96	52.38
平均値の標準誤差		.410	.468
中央値		80.00	50.00
最頻値		80	50
標準偏差		14.284	16.154
分散		204.022	260.955
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	70.00	45.00
	40	75.00	50.00
	50	80.00	50.00
	60	80.00	55.00
	75	90.00	60.00

(一般県民)65歳以上の重視度・満足度基本統計量

		政策1重視度	政策1満足度
度数	有効	425	413
	欠損値	32	44
平均値		77.00	57.47
平均値の標準誤差		.661	.833
中央値		80.00	60.00
最頻値		80	50
標準偏差		13.624	16.937
分散		185.613	286.847
範囲		90	100
最小値		10	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	70.00	50.00
	40	75.00	50.00
	50	80.00	60.00
	60	80.00	60.00
	75	90.00	70.00

3 3 圏域別（一般県民、市町村職員）

一般県民の、圏域別における重視度・満足度は以下の通りである。

重視度の中央値は、回答者全体（80.0点）と5ポイント以上差のある圏域はない。

満足度の中央値は、大崎圏域（55.0点）、栗原圏域（55.0点）、登米圏域（55.0点）の3圏域が回答者全体（50.0点）よりも5ポイント高い。

重視度の四分位偏差は、栗原圏域（7.5点）、登米圏域（8.8点）の2圏域が回答者全体（10.0点）よりも小さい。

満足度の四分位偏差は、仙台圏域（7.5点）、仙南圏域（7.5点）の2圏域が回答者全体（10.0点）よりも小さい。

市町村職員の、圏域別における重視度・満足度は以下の通りである。

重視度の中央値は、栗原圏域（75.0点）、登米圏域（75.0点）、石巻圏域（75.0点）の3圏域が回答者全体（80.0点）よりも5ポイント低い。

満足度の中央値は、仙南圏域（55.0点）、大崎圏域（55.0点）の2圏域が回答者全体（60.0点）よりも5ポイント、石巻圏域（50.0点）、気仙沼・本吉圏域（50.0点）の2圏域が10ポイント低い。

重視度の四分位偏差は、仙南圏域（7.5点）、登米圏域（7.5点）、石巻圏域（7.5点）の3圏域が回答者全体（10.0点）よりも小さい。

満足度の四分位偏差は、気仙沼・本吉圏域（11.3点）、石巻圏域（10.0点）、仙南圏域（9.4点）、登米圏域（9.4点）の4圏域が回答者全体（7.5点）よりも大きい。

政策1「障害者・高齢者が地域で自分らしい
生活を送るための環境づくり」

【一般県民】

中央値、第1四分位、第3四分位、四分位偏差の値 (点)

		回答者 全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
中央値	重視度	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0
	満足度	50.0	50.0	50.0	55.0	55.0	55.0	50.0	50.0
	かい離	30.0	30.0	30.0	25.0	25.0	25.0	30.0	30.0
第1四分位数 (25パーセンタイル)	重視度	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0
	満足度	45.0	45.0	45.0	50.0	45.0	50.0	45.0	45.0
	かい離	25.0	25.0	25.0	20.0	25.0	20.0	25.0	25.0
第3四分位数 (75パーセンタイル)	重視度	90.0	90.0	90.0	90.0	85.0	87.5	90.0	90.0
	満足度	65.0	60.0	60.0	70.0	65.0	70.0	65.0	65.0
	かい離	25.0	30.0	30.0	20.0	20.0	17.5	25.0	25.0
四分位偏差 (第3四分位数 第1四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	10.0	10.0	7.5	8.8	10.0	10.0
	満足度	10.0	7.5	7.5	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0

【市町村職員】

中央値、第1四分位、第3四分位、四分位偏差の値 (点)

		回答者 全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
中央値	重視度	80.0	80.0	80.0	80.0	75.0	75.0	75.0	80.0
	満足度	60.0	60.0	55.0	55.0	60.0	60.0	50.0	50.0
	かい離	20.0	20.0	25.0	25.0	15.0	15.0	25.0	30.0
第1四分位数 (25パーセンタイル)	重視度	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0
	満足度	50.0	50.0	46.3	50.0	50.0	51.3	40.0	45.0
	かい離	20.0	20.0	23.8	20.0	20.0	18.8	30.0	25.0
第3四分位数 (75パーセンタイル)	重視度	90.0	90.0	85.0	90.0	90.0	85.0	85.0	90.0
	満足度	65.0	65.0	65.0	65.0	65.0	70.0	60.0	67.5
	かい離	25.0	25.0	20.0	25.0	25.0	15.0	25.0	22.5
四分位偏差 (第3四分位数 第1四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	7.5	10.0	10.0	7.5	7.5	10.0
	満足度	7.5	7.5	9.4	7.5	7.5	9.4	10.0	11.3

4. 政策1の各施策の優先度

各施策の優先度は以下の通りである。

回答者全体での各施策の優先度

一般県民では、

第1位は施策3「介護が必要な高齢者を支えるサービスの充実」(35.9%)である。

第2位は施策5「障害者や高齢者の地域での生活を支援する人材の確保」(21.6%)である。

第3位は施策4「元気高齢者の生きがいづくり」(20.0%)である。

市町村職員では、

第1位は施策3「介護が必要な高齢者を支えるサービスの充実」(30.7%)である。

第2位は施策5「障害者や高齢者の地域での生活を支援する人材の確保」(23.5%)である。

第3位は施策4「元気高齢者の生きがいづくり」(18.8%)である。

学識者では、

第1位は施策3「介護が必要な高齢者を支えるサービスの充実」(32.8%)である。

第2位は施策4「元気高齢者の生きがいづくり」(28.4%)である。

第3位は施策5「障害者や高齢者の地域での生活を支援する人材の確保」(17.9%)である。

性別

一般県民では、

性別毎の各施策の優先度は、男女とも、回答者全体と同じである。

65歳年齢区分別

一般県民では、

第1位は、65歳未満65歳以上とも施策3「介護が必要な高齢者を支えるサービスの充実」である。

第2位は、65歳未満では施策5「障害者や高齢者の地域での生活を支援する人材の確保」、65歳以上では施策4「元気高齢者の生きがいづくり」である。

第3位は、65歳未満では施策4「元気高齢者の生きがいづくり」、65歳以上では施策5「障害者や高齢者の地域での生活を支援する人材の確保」である。

圏域別

一般県民では、

第 1 位は、全圏域とも施策 3 「介護が必要な高齢者を支えるサービスの充実」である。

第 2 位は、大崎、栗原、登米、石巻、気仙沼・本吉の 5 圏域では施策 5 「障害者や高齢者の地域での生活を支援する人材の確保」、仙台、仙南の 2 圏域では施策 4 「元気高齢者の生きがいつくり」である。

第 3 位は、大崎、栗原、登米、石巻、気仙沼・本吉の 5 圏域では施策 4 「元気高齢者の生きがいつくり」、仙台、仙南の 2 圏域では施策 5 「障害者や高齢者の地域での生活を支援する人材の確保」である。

市町村職員では、

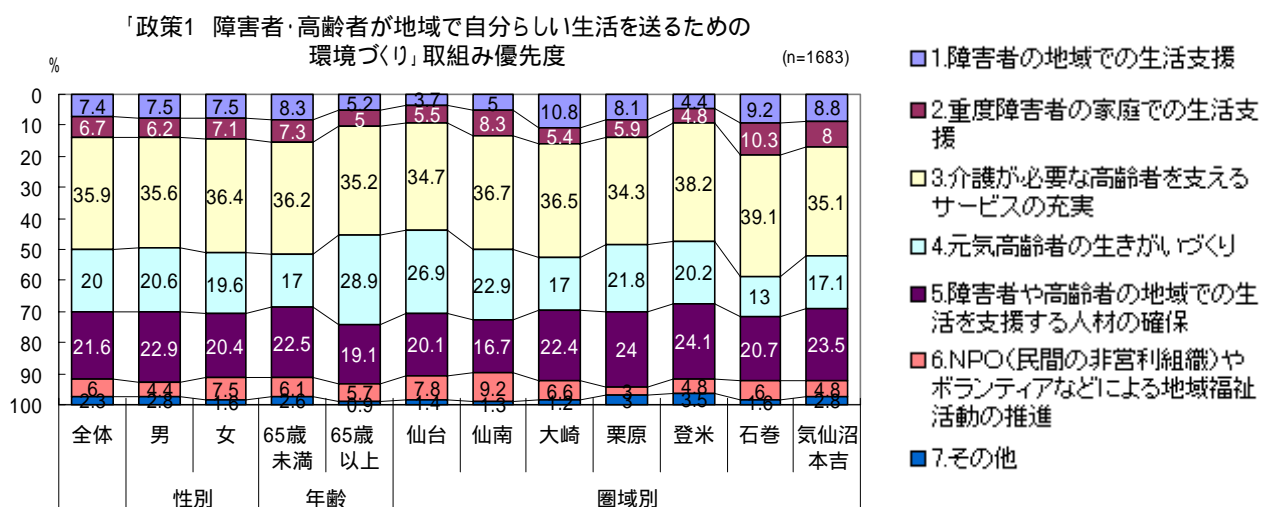
第 1 位は、仙台、仙南、大崎、気仙沼・本吉の 4 圏域では施策 3 「介護が必要な高齢者を支えるサービスの充実」、登米、石巻の 2 圏域では施策 4 「元気高齢者の生きがいつくり」、栗原、登米の 2 圏域では施策 5 「障害者や高齢者の地域での生活を支援する人材の確保」、登米圏域では施策 2 「重度障害者の家庭での生活支援」である（登米圏域では、施策 2 と施策 4 と施策 5 が共に第 1 位になっている）。

第 2 位は、仙台、仙南、大崎、石巻の 4 圏域では施策 5 「障害者や高齢者の地域での生活を支援する人材の確保」、栗原圏域では施策 1 「障害者の地域での生活支援」、石巻圏域では施策 2 「重度障害者の家庭での生活支援」と施策 3 「介護が必要な高齢者を支えるサービスの充実」、気仙沼・本吉圏域では施策 4 「元気高齢者の生きがいつくり」である（石巻圏域では施策 2 と施策 3 と施策 5 が共に第 2 位になっている）。

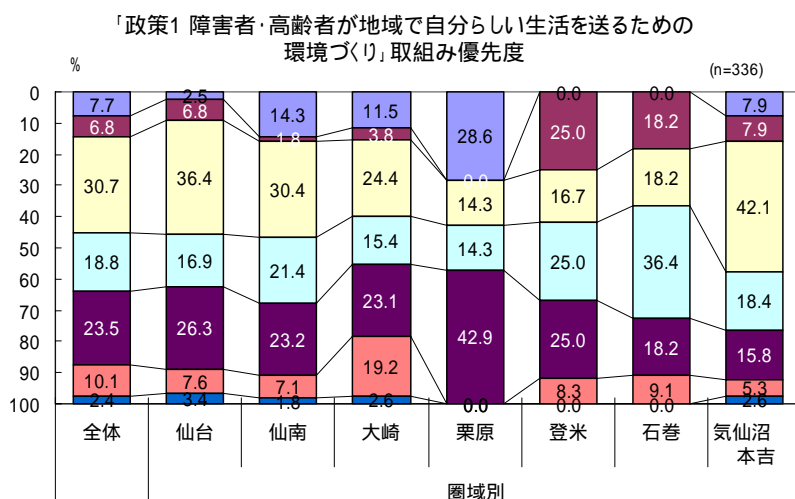
第 3 位は、仙台、仙南、栗原の 3 圏域では施策 4 「元気高齢者の生きがいつくり」、大崎圏域では施策 6 「NPO（民間の非営利組織）やボランティアなどによる地域福祉活動の推進」、栗原圏域では施策 3 「介護が必要な高齢者を支えるサービスの充実」、気仙沼・本吉圏域では施策 5 「障害者や高齢者の地域での生活を支援する人材の確保」である（栗原圏域では施策 3 と施策 4 が共に第 3 位になっている）。

政策1「障害者・高齢者が地域で自分らしい生活を送るための環境づくり」

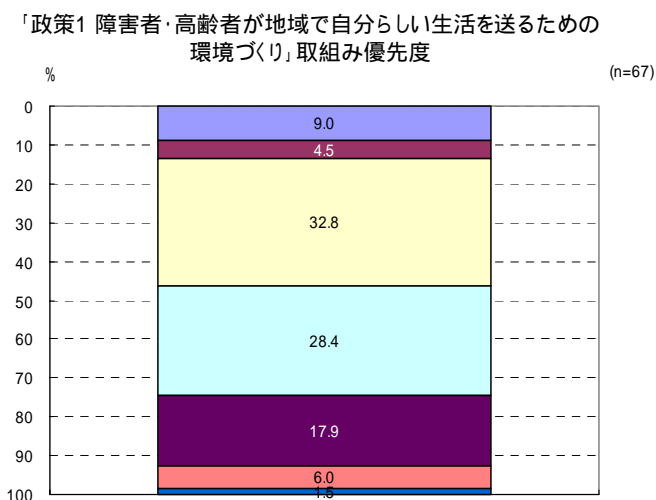
【一般県民】



【市町村職員】



【学識者等】



政策1「障害者・高齢者が地域で自分らしい生活を送るための環境づくり」

【一般県民】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体	性別		年齢		圏域別						
			男	女	65歳未満	65歳以上	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
1	1.障害者の地域での生活支援	7.4	7.5	7.5	8.3	5.2	3.7	5.0	10.8	8.1	4.4	9.2	8.8
2	2.重度障害者の家庭での生活支援	6.7	6.2	7.1	7.3	5.0	5.5	8.3	5.4	5.9	4.8	10.3	8.0
3	3.介護が必要な高齢者を支えるサービスの充実	35.9	35.6	36.4	36.2	35.2	34.7	36.7	36.5	34.3	38.2	39.1	35.1
4	4.元気高齢者の生きがいづくり	20.0	20.6	19.6	17.0	28.9	26.9	22.9	17.0	21.8	20.2	13.0	17.1
5	5.障害者や高齢者の地域での生活を支援する人材の確保	21.6	22.9	20.4	22.5	19.1	20.1	16.7	22.4	24.0	24.1	20.7	23.5
6	6.NPO(民間の非営利組織)やボランティアなどによる地域福祉活動の推進	6.0	4.4	7.5	6.1	5.7	7.8	9.2	6.6	3.0	4.8	6.0	4.8
7	7.その他	2.3	2.8	1.6	2.6	0.9	1.4	1.3	1.2	3.0	3.5	1.6	2.8

【市町村職員】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体	圏域別						
			仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
1	1.障害者の地域での生活支援	7.7	2.5	14.3	11.5	28.6	0.0	0.0	7.9
2	2.重度障害者の家庭での生活支援	6.8	6.8	1.8	3.8	0.0	25.0	18.2	7.9
3	3.介護が必要な高齢者を支えるサービスの充実	30.7	36.4	30.4	24.4	14.3	16.7	18.2	42.1
4	4.元気高齢者の生きがいづくり	18.8	16.9	21.4	15.4	14.3	25.0	36.4	18.4
5	5.障害者や高齢者の地域での生活を支援する人材の確保	23.5	26.3	23.2	23.1	42.9	25.0	18.2	15.8
6	6.NPO(民間の非営利組織)やボランティアなどによる地域福祉活動の推進	10.1	7.6	7.1	19.2	0.0	8.3	9.1	5.3
7	7.その他	2.4	3.4	1.8	2.6	0.0	0.0	0.0	2.6

【学識者等】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体
1	1.障害者の地域での生活支援	9.0
2	2.重度障害者の家庭での生活支援	4.5
3	3.介護が必要な高齢者を支えるサービスの充実	32.8
4	4.元気高齢者の生きがいづくり	28.4
5	5.障害者や高齢者の地域での生活を支援する人材の確保	17.9
6	6.NPO(民間の非営利組織)やボランティアなどによる地域福祉活動の推進	6.0
7	7.その他	1.5

政策 1 「障害者・高齢者が地域で自分らしい
生活を送るための環境づくり」